

# 人と地球の 美しい未来を切り拓く 「グリーンサイエンス」革命

ビューティーサイエンスのリーディングカンパニー、ロレアルのコミットメント

## 自然とサイエンスの美しい調和のために

創設から110年、ロレアルはサイエンスの分野で、大きな変革を成し遂げようとしています。プラネタリー・バウンダリーを尊重しつつ、自然と生物界から着想を得た新しい科学のフロンティア、「グリーンサイエンス」の領域へ。私たちはビューティーサイエンスのリーディングカンパニーとして、いち早くこの領域の技術を取り入れてきました。美しい地球を次の世代へと受け渡すための新しい科学の先進性と、その大いなる可能性についてご紹介いたします。

バーバラ・ラヴェルノ  
ロレアル 副最高経営責任者  
リサーチ&イノベーション / テクノロジー部門担当



## 科学から生まれたビューティーカンパニーとしての使命

ロレアルは1909年、科学者のウジェーヌ・シュエレルによって誕生しました。以来110年もの間、ロレアルのビジネスの中核には常に科学が存在し、その恩恵を享受してきました。ビューティーカンパニーとして成功を成し得た背景には、科学への情熱と、人々の「美」に関する無限のニーズ、そしてその願望に答えるイノベーションへの強い信念があります。

現在、ロレアル リサーチ&イノベーションは、フランス、米国、ブラジル、南アフリカ、インド、中国、日本の7つの地域にある20か所のリサーチセンターと、そこに所属する4000名もの研究員により構成され、ビューティーの世界では他に類を見ないほど壮大なネットワークを保持しています。これら研究員とサプライヤー、大学、研究機関、協力企業などにより形成される各地域のエコシステムを通じた国際的パートナーシップによってもたらされるものは、ダイバーシティとインクルーシブを可能にする人々のニーズと願望の考察、そして大いなるイノ

ペーションの可能性です。2021年には、10億ユーロ超(1,450億円\*)を研究開発に投資し、6,900を超える新しい処方開発、12,000件の製品評価テスト、さらに510件の特許の取得など、ロレアル リサーチ&イノベーションの揺るぎない研究力は、最先端の技術と知識を駆使しながら、世界中を感動させる「美」を創造し続けています。

\*1ユーロ=145円として



## 地球を守りつつ、「美」を創造するために。

ロレアル リサーチ&イノベーションが推進する研究分野の一つに、新しい科学のフロンティア「グリーンサイエンス」があります。「グリーンサイエンス」とは自然と生物界から着想を得た、環境に配慮した科学のことで、バイオテクノロジーを始めとして、日々、新しいイノベーションがアップデートされています。

## 科学的発見の未知なる可能性を求めて

ロレアル リサーチ&イノベーションは以下の2つの目標を掲げ、「グリーンサイエンス」を駆使して原料、有効成分、処方のポートフォリオの変革に着手しています。

### 1. 「地球を守りながら美を創造すること」

原材料の持続可能な供給から処方の配合にいたるまで製品サイクルのすべてにわたって生物多様性や水生環境の保護、さらには製品の生分解性に配慮します。

### 2. 「新たに卓越したパフォーマンスを見出すために、自然界によって生み出される科学の未開拓分野を探求すること」

なかでも自然界に存在するタンパク質とバクテリア、藻類とキノコの特性と能力に注力しています。

上記の2つの目標達成のためにスタートさせたのが、下記の4分野にわたる研究です。

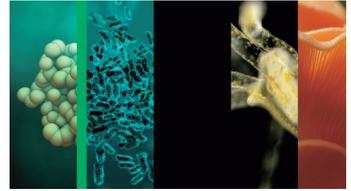
### 1.アグロノミー2.0

生物多様性を保護しながら供給を保証するために、テクノロジーを駆使し、栽培面積を増やさず、持続可能な方法で植物を栽培しています。その一例がマダガスカル産のツボクサで、それから得られた成分は抗炎症作用やエイジングケア効果を持ち、その恵みを「ラ ロッシュ ポゼ」のスキンケア製品に配合しています。



### 2.発酵とバイオテクノロジー

植物やバクテリアなどの生物をマイクロファクトリーとして活用し、新成分を開発しています。フランス トゥールのバイオテクノロジープラントで栽培している鉱泉プランクトンのピトレオシラフィリフォルミスから抽出された成分は抗菌、抗酸化作用を持ち、肌の防御力をサポートすることが認められており、これもまたスキンケア製品に応用されています。



### 3.グリーン抽出

環境に優しい天然の溶媒を採用し、エネルギー消費を低減したエコプロセスによって成分を抽出する技術のことで、活性の高い分子を直接抽出することが可能となります。この革新的なグリーン抽出法によって、希少なバラの花のエキスを抽出し、高濃度配合に成功したのが、ランコムのアプソリュ インテンシブエッセンスです。



### 4.グリーンケミストリー

グリーンケミストリーは、エネルギー消費の低減や水などの非石油化学系溶媒の使用、工程数の削減などによって、人体および環境への負荷を低減した化学合成技術の総体です。特許取得の有用成分プロキシレンの合成にもグリーンケミストリーを採用。ヘレナルピンスタインのリプラスティ R.C. クリームは、処方の方の工夫により、この成分を30%配合することに成功しています。



## ロレアルが取り組む、生物とグリーンサイエンスの融合とは？

2013年に開始されたサステナビリティプログラム「Sharing Beauty with All」以降、科学の新潮流「グリーンサイエンス」を全活動において推進してきたロレアル リサーチ&イノベーション。いまだ研究過程にあるテーマもありますが、確実な成果を挙げたプロジェクトも数多くあります。現在では、原材料の59%が再生可能な植物由来で、また80%が生分解性可能、新製品の中には成分の98%が天然由来のもの、製品の生分解性が99%を達成したものもあります。今後は、処方の環境プロファイルや成分の原産地、加工・製造過程を表示するなど、全製品の情報を詳細まで記載するようコミットしていく予定です。

## 2030年に向けての新たなコミットメント宣言

2020年にスタートし、サステナブルな世界の実現を目指して掲げたプログラム「L'Oréal for the Future」。2030年に向けて、地球の限界（プラネタリーバウンダリー）を考慮した「グリーンサイエンス」に関するコミットメントは、大きく3つあります。第一に「我々が手がける処方」を100%エコデザインで設計すること。第二に「処方の100%を水圏の生態多様性に考慮したものにする」こと。第三に「製品に配合する成分の95%を再生可能な植物由来、豊富な鉱物資源あるいは循環型プロセスから得られたものとする」ことです。地球に配慮しながら生命科学の発見と発明、そしてイノベーションを行うことは決して容易なものではありませんが、4,000名の研究員とともに、責任ある美しさを世界に提供することを誓い、コミットメント実現に向けて、真摯に取り組んでいく所存です。すべては、自然とサイエンスの持続可能な調和によって育まれる「美しい未来」のために。

